

平成26年度に向けた県土整備部の施策の基本方針

- 課題**
- ～「国土の強靱化」と「日本の元気」をリードし「夢と希望」の持てる社会の実現に向けて～
 - 南海トラフ巨大地震などの大規模災害への対応
 - 社会資本の急速な老朽化への対応
 - 深刻化する地球環境・エネルギー問題

課題解決先進県として県土整備部の進化する「3本の矢」

安全・安心

～自然災害に強い
県土基盤づくり～

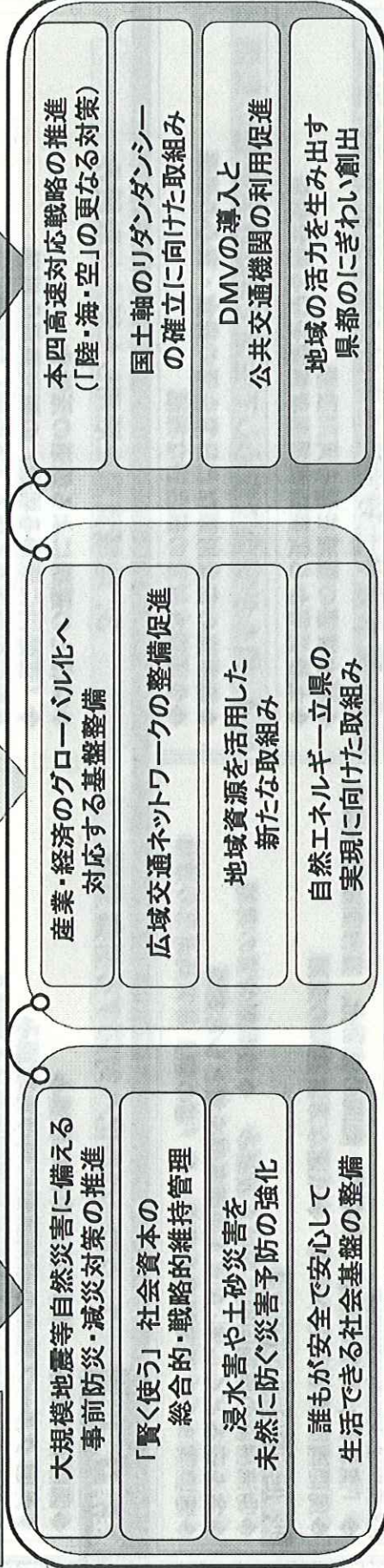
経済・雇用

～地域の活性化を支える
県土基盤づくり～

宝の島

～魅力ある
県土基盤づくり～

主要施策



大規模地震等自然災害に備える
事前防災・減災対策の推進

「賢く使う」社会資本の
総合的・戦略的維持管理

浸水害や土砂災害を
未然に防ぐ災害予防の強化

誰もが安全で安心して
生活できる社会基盤の整備

産業・経済のグローバル化へ
対応する基盤整備

広域交通ネットワークの整備促進

地域資源を活用した
新たな取組み

自然エネルギー立県の
実現に向けた取組み

本四高速対応戦略の推進
（「陸・海・空」の更なる対策）

国土軸のリダンダンシー
の確立に向けた取組み

DMVの導入と
公共交通機関の利用促進

地域の活力を生み出す
県都のにぎわい創出

施策の進め方

- 人材育成と技術の伝承・支援
- 現場主義の徹底
- 多様な主体との連携
- 既存ストックの有効活用
- 公共サービスの利便性向上

県政発展の礎となる「社会インフラ」の構築に総力を結集

安全・安心

1. 事前防災・減災対策の推進

大規模地震を迎え撃つ対策

- ◆沿岸地域におけるL1津波対策の推進
- ◆津波避難や早期啓開に資する道路整備
- ◆安全で確実な避難の確保
- ◆「空き家」対策の推進 ◆樋門・陸間の自動化、操作訓練等の推進
- ◆民間建築物耐震化の推進 ◆迅速な津波避難の支援

災害に強い地域構造の構築

- ◆物流機能の早期回復に向けた取組み ◆放置艇対策の実施
- ◆命を守るとくしま-0(せま)作戦案例を核とした支援
- ◆建設業BCP認定制度の推進 ◆「道の駅」防災拠点化の推進

経済・雇用

1. グローバル化へ対応する基盤整備

- ◆国際線の就航・利用促進に向けた取組み
- ◆外国クルーズ客船の寄港誘致に向けた取組み
- ◆新たな外航コンテナ定期航路開設に向けた取組み
- ◆足腰の強い建設産業の育成

2. 広域交通ネットワークの整備促進

- ◆四国横断自動車道、阿南安芸自動車道の整備促進
- ◆高速道路の機能強化

宝の島

1. 本四高速対応戦略の推進

- 陸 ◆四国横断自動車道 鳴門JCT～徳島IC H26供用
- ◆観光振興等に資するアクセス整備
- 海 ◆徳島小松島港 沖洲クミカ 耐震強化岸壁 H26完成
- ◆外国クルーズ客船の寄港誘致に向けた取組み【再掲】
- ◆新たな外航コンテナ定期航路開設に向けた取組み【再掲】
- 空 ◆徳島阿波おどり空港 松茂スマートIC・徳島空港線 H26供用
- ◆より広いエリアからの利用拡大PR
- ◆国際線の就航・利用促進に向けた取組み【再掲】

2. 「賢く使う」社会資本の総合的・戦略的維持管理

- ◆社会資本の老朽化対策の推進
- ◆官民連携型維持管理の推進
- ◆職員の技術力向上

3. 浸水害や土砂災害を未然に防ぐ災害予防の強化

- ◆浸水被害の軽減を図る河川改修
- ◆土砂災害から災害時要援護者施設を守る保全対策

4. 誰もが安全で安心して生活できる社会基盤の整備

- ◆通学路の安全対策など日常生活の安全・安心の確保
- ◆生活排水対策の総合的な推進

3. 地域資源を活用した新たな取組み

- ◆文化との連携による鉄道の活性化
- ◆「吉野川に架かる橋梁」の観光資源化推進
- ◆地域の魅力あふれる「道の駅」の整備
- ◆県産木材利用の推進

4. 自然エネルギー立県の実現

- ◆土木施設への省エネルギー化の推進
- ◆再生可能エネルギーの導入

2. 国土軸のリダンダンシーの確立に向けた取組み

- ◆「四国新幹線計画」の実現に向けて
- ◆広域交通ネットワークの整備促進【再掲】

3. 阿佐東線の活性化・公共交通機関利用促進

- ◆阿佐東線の活性化に向けたDMVの導入具現化のための検討
- ◆鉄道・フェリー・生活バス路線の利用促進

4. 京都のにぎわい創出

- ◆市街地の水辺空間における「にぎわい」の創出